

平成26年度事業報告書

1. 平成26年度の事業概要

当学園ではここ数年「魅力ある学園作り」を目指して各部門において取り組みを進めてきていますが、26年度はこれを一層強力に推進するために全学横断的に共通の目標を掲げて取り組んできました。

具体的には英語学習の全学的展開により「優れた英語力を有する人材・リーダーを育成する学園」を標榜し、教育の分野での信頼の厚い宝仙ブランドの確立に向けて注力してきました。

学校別の主な教育活動の取り組み、推進状況は以下の通りです。

こども教育宝仙大学は開学後初めて公益財団法人日本高等教育評価機構による大学認証評価を受け、「大学評価基準に適合している」との認定を受けました。このことは開学以来、関係者一同が真摯に取り組んできました大学の経営を始めその他各種活動が専門機関の眼から見て評価をいただいた証であり、今後の歩みの自信にも繋がりました。

また、26年度は「保育英語の展開」を主要課題のひとつとして掲げ、その具体策として新たにオーストラリアでの英語研修・幼児教育体験を成功裏に実施することができました。

今年度も引き続き就職支援体制の充実および募集対策に注力した結果、就職率は96.3%に達しました。また、平成27年度の入学者も定員を上回る102名を迎えることができました。

中学高等学校共学部・理数インターは「理数インター」のコンセプトである理数的思考力に基づくコミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成に最重点で取り組み、中学・高校での海外研修等を通じて独自のグローバル教育を展開しました。

進学実績も、この春には第3期生が卒業しましたが、国公立大学や早慶上理ICU等有力大学への進学者を多数送り出し、これまでの2年間以上に優秀な成績を収めることができました。

女子部は26年度より新しい学習システムHAL (Hosen Active Learning) をスタートさせました。

宝仙の女子教育の伝統を受け継ぎながら新たな発想を取り入れて構築した革新的な学習システムです。HALでは「アクティブ進学コース」と「アドバンス保育コース」の2コース制とし、難関大学を目指す特待選抜「セレクション10」も設けました。進学実績も津田塾大、東京女子大、立教大等への進学者が増え、前年度を上回る成績を収めることができました。

小学校では、これまで取り組んできました教育環境の整備をベースとして、教育内容の充実に注力しています。英語活動の充実に関しましては5, 6年生にも英語活動を取り入れ、ICT授業では25年度に導入したIWB (電子黒板) の活用に加え、更なるICT授業の進化に向けた研究にも取り組んでいます。

幼稚園では、新たな教育目標を設定するとともに英語教育の導入に取り組みました。年中・年長組を対象にネイティブの教師による体験型の英語教育として実施しましたが、子どもたちは大いに興味を示

し、順調なスタートを切ることが出来ました。

また、こども教育宝仙大学との連携によるリトミック教室や造形あそび、宝仙学園小学校との連携による理科実験教室も進展し、総合学園としてのメリットを十分に享受した取り組みが進みました。

今後とも各学校が教育の変革すなわち教育活動・内容の更なる充実に一体となって積極的に取り組み、「魅力ある学園作り」に努めてまいります。

2. 学校法人の概要

(1) 建学の精神

本学園は、「仏教の精神を基調とした人間教育によって、知性と品格を兼ね備えた人を造る」という建学の精神に基づき、社会において有為な人材を育成することがその使命です。学力・知識の涵養はもとより、豊かな人間性と社会性を育むよう学園並びに各学校が総力を挙げて“宝仙のグローバル教育”“宝仙のリーダー教育”“宝仙の情操教育”を柱として特色ある教育を展開していきます。

(2) 学校法人の沿革

① 法人設立年月日 昭和23年3月31日

② 学校設置等

昭和 2年 3月	感応幼稚園設置認可→昭和29年10月宝仙学園幼稚園と園名を変更
昭和 3年 1月	中野高等女学校設立認可
昭和10年 3月	仏教保育協会保姆養成所設置認可
昭和14年 6月	仏教保育協会中野保姆養成所に校名を変更
昭和19年 1月	中野保姆養成所に校名を変更
昭和21年11月	中野高等保育学校に校名を変更
昭和22年 4月	新制宝仙中学校設置認可
昭和23年 3月	新制宝仙高等学校設置認可
昭和23年 3月	財団法人宝仙学園設置認可
昭和26年 3月	学校法人宝仙学園に組織変更
昭和26年 3月	中野高等保育学校を廃止し、宝仙学園短期大学保育学科を設立
昭和27年11月	宝仙学園小学校設置認可
昭和29年10月	宝仙中学校を宝仙学園中学校と校名を変更
昭和29年10月	宝仙高等学校を宝仙学園高等学校と校名を変更
昭和39年 1月	宝仙学園短期大学生生活芸術科設置認可
平成 9年 4月	宝仙学園短期大学生生活芸術学科を造形芸術学科に名称変更認可
平成10年 4月	宝仙学園短期大学専攻科造形芸術専攻設置認可（学位授与機構認定）
平成19年 4月	宝仙学園中学校共学部「理数インター」を開設
平成20年10月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科設置認可
平成21年 4月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科開学

平成21年 4月 宝仙学園短期大学保育学科学生募集停止

平成22年 4月 宝仙学園短期大学廃止

(3) 設置する学校・学部・学科等 (平成26年5月1日現在)

設置する学校	開校年月	学部・学科等	備考
こども教育宝仙大学	平成21年4月	こども教育学部幼児教育学科	
宝仙学園高等学校	昭和3年4月	全日制(普通科)	
宝仙学園中学校	昭和22年4月		
宝仙学園小学校	昭和28年4月		
宝仙学園幼稚園	昭和2年4月		

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況 (平成26年5月1日現在)

学校名	入学定員数	収容定員数	現員数	備考 H27.5.1
こども教育宝仙大学	100	400	406	395
宝仙学園高等学校	210	630	654	694
宝仙学園中学校	170	510	378	319
宝仙学園小学校	70	420	452	448
宝仙学園幼稚園	—	315	263	269

(5) 役員の概要 (平成26年5月1日現在)

区分	定員数	現員数	常勤・非常勤
理事	7~10人	9人	常勤-7人 非常勤-2人
監事	2人	2人	非常勤-2人

(6) 評議員の概要 (平成26年5月1日現在)

区分	定員数	現員数	常勤・非常勤
評議員	19~28人	19人	常勤-11人 非常勤-8人

(7) 教職員の概要 (平成26年5月1日現在)

区分	大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	本部	合計	
教員	本務	19	44	23	23	14	0	123
	兼務	22	37	18	0	0	0	77
職員	本務	16	6	5	4	1	1	33
	兼務	4	3	1	7	4	1	20

3. 事業運営の概要

理事会、評議員会では、決議事項、報告事項等について討議及び承認が行われました。会議内容は以下の通りです。

(1) 理事会開催の状況・・・平成26年度開催回数7回

<主な議案>

(学 園)

- ・平成26年度補正予算について
- ・平成25年度収支決算について
- ・平成25年度事業報告について
- ・平成27年度中期経営計画、平成27年度事業計画・収支予算計画について
- ・役員、評議員の選任について
- ・大学5号館新築について
- ・学園規則類の制定・改廃について

(2) 評議員会開催の状況・・・平成26年度開催回数5回

<主な議案>

- ・平成26年度補正予算について
- ・平成25年度収支決算について
- ・平成25年度事業報告について
- ・平成27年度中期経営計画、平成27年度事業計画・収支予算計画について
- ・監事の改選について

(3) 監事業務の状況

- ・理事会、評議員会への出席状況（理事会7回、評議員会5回）
- ・監事監査の実施（会計監査2回、業務監査3回）
- ・文部科学省主催「監事研修会」への参加（監事2名他本部事務局長）

(4) 法定監査の状況・・・平成26年度実施回数16回

- ・監査法人による会計監査の実施

(5) 平成26年度の主な教育活動

<大 学>

- ・本学園幼稚園での体験学習(1・2年次生)の実施 (H26.5～7月)
- ・教育実習Ⅱ(4年次生)実施 (H26.6)
- ・認証評価「自己点検評価書」日本高等教育評価機構へ提出 (H26.6)
- ・園長・施設長懇談会の開催 (H26.7/2)
- ・「La BalenVoce コンサート」子育て広場同時開催 (H26.7/12)
- ・保育実習(保育所・施設)実施 (H26.8～9月)
- ・課外プログラム3・4年次生：国外／オーストラリア (H26.8/30～9/6)
- ・課外プログラム3年次生：国外／韓国 (H26.9/2～9/6)
- ・課外プログラム2年次生：国内／富山県利賀村 (H26.9/4～9/8)
- ・東北再生「私大ネット36」南三陸サマープログラム参加 (H26.8/19～8/22)
- ・本学園幼稚園での教育実習Ⅰ(3年次生)実施 (H26.9～12月)
- ・認証評価現地調査 (H26.9/26・27)

- ・第6回図書館講演会開催(中野区後援) 講師/あべ弘士氏 (H26.11/15)
- ・第2回東北再生「私大ネット36」シンポジウムに幹事校として参加 (H26.11/8)
- ・健康講座「すべての人に知ってほしい子宮がん」(中野区中部すこやかセンター・本学共催)
(H26.11/29)
- ・本学園幼稚園での体験学習(1・2年次)の実施 (H26.11~12月)
- ・大学入試センター試験 東京女子大学と共同実施 (H27.1/17・18)
- ・保育実習(保育所・施設) 実施 (H27.2/1~3/31)
- ・子育て広場「みんなで遊ぼう会」開催 (H27.2/26)
- ・認証評価日本高等教育評価機構より適合の認定(H27.3)
- ・第3回学位記授与式挙行 (H27.3.19)
- ・中野区との地域連携/各研修会等に講師として本学教員派遣 (年間)

< 中学・高等学校 >

(共学部)

- ・中1 ウェルカムキャンプ/富士山麓 (H26.4/21~22)
- ・体育祭/東京体育館 (H26.5/20)
- ・高2 アメリカ研修旅行/スタンフォード大学・ヨセミテ (H26.6/2~9)
- ・高1 仏教研修/長谷寺 (H26.6/3~5)
- ・ネイチャープログラム/中1 : 神代植物公園 (H26.6/26)、秩父 (H26.11/7)
/中2 : 江ノ島 (H26.6/26)、葛西 (H26.11/7)
- ・サマーキャンプ/中2 (H26.7/28~30)
- ・サマーセミナー/高1・2 (H26.7/28~31)
- ・ニュージーランド語学研修 (H26.7/20~24)
- ・中3 修学旅行/シンガポール (H26.2/25~3/1)
- ・中1 ラグビー教室、講演 (H26.11/10、11/17) ラグビー観戦/国立競技場 (H26.11/23)
- ・高3 センター試験講習 (H26.12/8~H26.12/26 に随時)
- ・中1~高2 (中3除く) 英語プレゼンコンテスト (H27.2/26)
- ・中1~高1 合唱祭 (H27.1/26) 研究発表会 (H27.3/21)

(女子部)

- ・新入生歓迎会 (H26.4/9)
- ・高1~高3 遠足/都内近郊 (H26.5/2)
- ・高3 保育コース実習/宝仙学園幼稚園 (H26.5/28)
- ・体育祭/本学グラウンド (H26.5/31)
- ・高2 保育コース実習/宝仙学園幼稚園 (H26.6/18)
- ・夏期講習(前) (H26.7/22~25) (後) (H26.8/25~28)
- ・高1~高3 進学合宿 (H26.8/6~9)
- ・高2 カナダ研修旅行 (H26.9/11~17)
- ・芸術鑑賞会/劇団四季 (H26.11/21)
- ・冬期講習 (H26.12/22~26)
- ・中3~高2 合唱コンクール (H27.2/7)
- ・特進コース春期講習 (H27.3/23~26)

<小学校>

- ・自作テキスト等を活用した授業の展開（年間）
宝仙の国語（漢字ドリル）、宝仙の算数、算数ドリル、宝仙の理科等
- ・国公立・私立中学校受験に向けた習熟度別授業、補習の実施（年間）
- ・5，6年生の英語活動／外国人講師（年間）
- ・3，4年生の英語活動／外部講師（年間）
- ・「選ばれる私学・誌上座談会」に参画（プレジデントファミリー／H26.6/28号掲載）
- ・金管バンド、「社会を明るくする運動」演奏会への参加／杉並保護司会主催（H26.7/8）
- ・「第5回青梅街道七夕かざり」への参画／全学年参加（H26.7/7）
宝仙寺前通商店会・鍋横大通商店会共催
- ・電子黒板を活用した授業の実戦（年間）／電子黒板活用研修（年3回）
- ・金管バンド地域演奏会への参加／中野坂上PAO商店会イベント（H26.10/25）
- ・研究授業・協議会の実施／本学教育職員研修（年3回）
- ・4年生「子どもねんきん教室」（H27.2/13）

<幼稚園>

- ・英語教育導入／年中（27回）年長（25回）指導：中高共学部ネイティブ教師
- ・本学園大学との連携教育活動／リトミック教室（年10回）造形あそび（年3回）
- ・本学園小学校との連携教育活動／理科実験教室（年間3回）
- ・園内研修の開催／「英語教育環境づくり」（教材やモジュール活動の内容）（年3回）
「数・図形あそび」カリキュラム化に向け実践研究（年3回）
- ・避難訓練、防犯訓練実施（年間6回）、AED講習会開催（H26/12/8）
- ・公開保育の開催（H26/6月、9月）
- ・本学園小学校との連絡協議会（年3回）
- ・中野区幼稚園教育研究会参加（年6回）
- ・進学講演会開催（6月）講師：神田のぞみ（H26/6/23）
- ・母の会主催講演会の実施／講師：岸井慶子（H27/1/20）
- ・中央線沿線私立幼稚園合同説明会参加（H27/2/15）
- ・「楽しい子ども会」の実施／園児表現活動保護者参観（H27/2/17～20）

<全学園>

- ・合同学園祭「宝仙祭」の開催：大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園（H26.10/25～26）
「統一テーマは“しあわせ”」

（6）平成26年度の主な事業活動

<学園の活動>

- ① 学園経営の改革・改善及び学園運営に関する事項
 - ・宝仙学園就業規則の一部改正（H26.4/1施行）
 - ・宝仙学園事務組織規則の一部改正（H26.11/1施行）
 - ・宝仙学園衛生管理規程の制定（H26.11/1施行）
 - ・宝仙学園衛生委員会規程の制定（H26.11/1施行）
 - ・宝仙学園ハラスメント防止に関する指針の制定（H26.11/1施行）
 - ・宝仙学園ハラスメント防止に関する規程の制定（H26.11/1施行）
 - ・宝仙学園セクシャルハラスメントに関する規則類の廃止3件（H26.11/1施行）

- ・平成27年度学園経営理事長方針説明会の実施（H27.2/27）
- ② 教育環境整備の推進状況
 - ・大学5号館（宝仙 commons）建設（H26.7～ H27.3）
 - ・中学高等学校1・2・4号校舎：火災報知機一式取替更新（H26.8）
 - ・中学高等学校1号校舎：旧放送室改修「教室仕様へ」（H26.7～8）
 - ・中学高等学校1・2・4号校舎：LAN敷設工事及びネットワークカメラ設置（H26.7～8）
 - ・小学校全窓に網戸設置（H26.9）
 - ・幼稚園英語教育用AV機器設置（H26.4）
- ③ 学園運営管理施策の推進状況
 - ・平成26年度事業計画・予算の進捗確認「政策会議」の実施（H26.7月・12月）
 - ・平成26年度監事への経営報告会の実施（年3回）
 - ・学校法人会計基準の変更（平成27年4月1日施行）に伴う「新会計システム」への移行の完了（H26.12月）
 - ・中期経営計画及び平成27年度事業計画の部門別検討会の実施（H27.1/22～1/27）
- ④ 社会貢献活動
 - ・クールビズの実施／夏の節電対策含む省エネの徹底（H26.5/19～10/11）

4. 財務の概要

平成26年度の収支決算の状況は次の通りです。

資金収支計算書

(単位 円)

収入の部			
科 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生生徒等納付金収入	1,432,398,990	1,502,344,480	1,585,476,040
手数料収入	27,050,010	32,094,025	32,526,539
寄付金収入	40,390,000	36,520,222	38,137,136
補助金収入	653,566,214	649,481,268	650,178,116
資産運用収入	3,288,899	4,716,683	20,312,719
資産売却収入	100,000,000	100,000,000	401,035,000
事業収入	20,322,027	22,500,660	24,706,158
雑収入	25,848,651	74,973,729	57,897,907
借入金等収入	1,000,000	1,400,000	1,000,000
前受金収入	255,184,000	277,956,000	304,076,000
その他の収入	1,520,322,767	1,259,380,544	2,315,430,934
資金収入調整勘定	△ 251,008,604	△ 292,829,956	△ 1,342,326,609
前年度繰越支払資金	495,520,295	915,215,472	884,276,105
収入の部 合計	4,323,883,249	4,583,753,127	4,972,726,045

支出の部			
科 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人件費支出	1,347,219,385	1,383,852,528	1,445,352,715
教育研究経費支出	400,182,785	378,783,407	410,437,435
管理経費支出	156,218,937	165,387,261	190,667,906
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	600,000	800,000	200,000
施設関係支出	130,780,979	380,989,860	217,570,484
設備関係支出	50,314,196	66,380,506	25,198,854
資産運用支出	100,045,000	100,079,000	402,951,000
その他の支出	1,262,403,977	1,294,926,066	1,317,374,124
資金支出調整勘定	△ 39,097,482	△ 71,721,606	△ 80,114,998
次年度繰越支払資金	915,215,472	884,276,105	1,043,088,525
支出の部 合計	4,323,883,249	4,583,753,127	4,972,726,045

消費収支計算書

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生生徒等納付金	1,432,398,990	1,502,344,480	1,585,476,040
手数料	27,050,010	32,094,025	32,526,539
寄付金	45,395,415	40,306,239	40,938,150
補助金	653,566,214	649,481,268	650,178,116
資産運用収入	3,288,899	4,716,683	20,312,719
資産売却差額	0	0	61,685,000
事業収入	21,303,534	20,534,595	25,254,115
雑収入	63,020,420	83,965,811	58,273,907
帰属 収入 合計	2,246,023,482	2,333,443,101	2,474,644,586
基本金 組入額合計	△ 106,212,381	△ 273,256,126	△ 63,074,906
消費収入の部合計	2,139,811,101	2,060,186,975	2,411,569,680

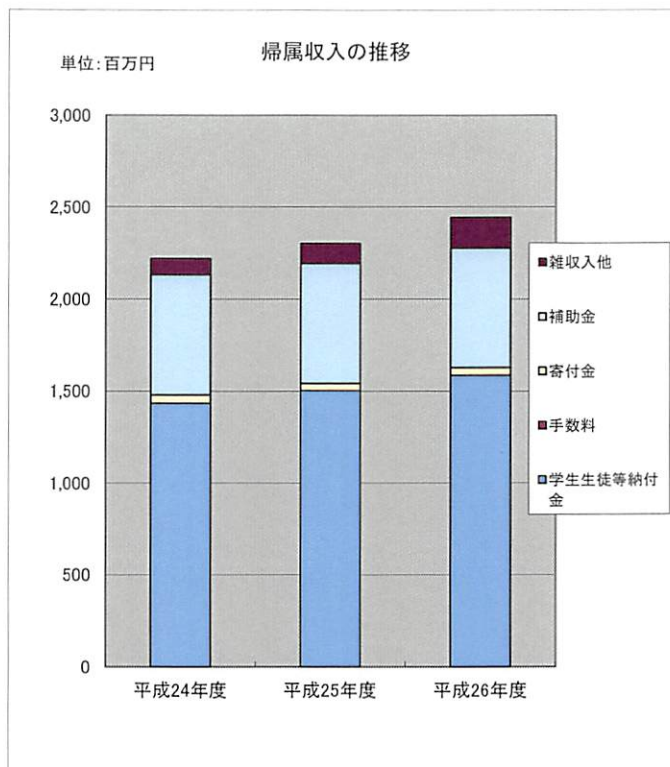
消費支出の部			
科 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人件費	1,347,501,385	1,384,228,528	1,430,377,639
教育研究経費	635,820,356	620,211,003	643,967,185
管理経費	168,517,929	177,416,138	207,766,153
借入金等利息	0	0	0
資産 処分 差額	79,929,195	8,876,558	5,157,079
徴収不能引当金繰入額	2,575,500	1,556,350	778,850
徴収不能額	0	0	0
消費支出の部合計	2,234,344,365	2,192,288,577	2,288,046,906
当年度消費収入超過額	△ 94,533,264	△ 132,101,602	123,522,774
前年度繰越消費収入超過額	△ 2,871,803,070	△ 2,966,336,334	△ 3,098,437,936
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越消費収入超過額	△ 2,966,336,334	△ 3,098,437,936	△ 2,974,915,162

貸借対照表

(単位 円)

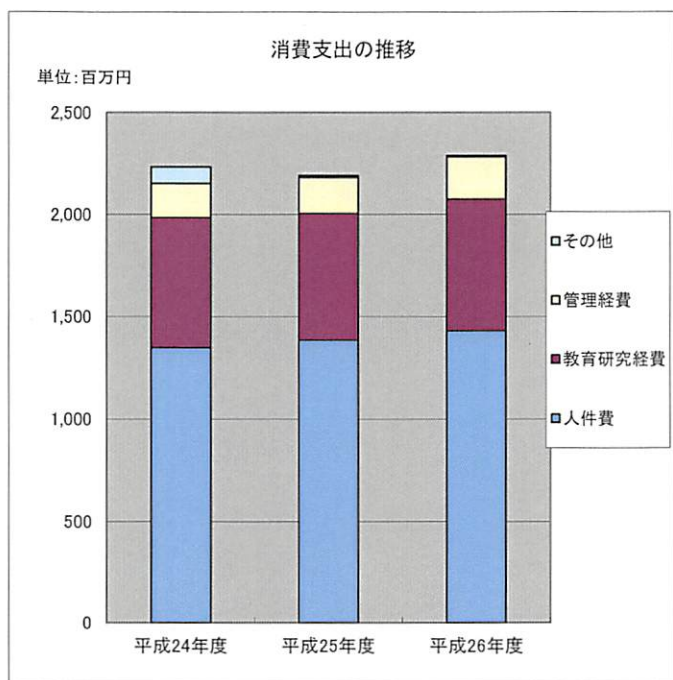
科 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	科 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
資産の部				負債の部			
固定資産	7,415,852,555	7,605,743,136	7,658,839,058	固定負債	94,810,112	87,394,030	71,842,954
有形固定資産	6,972,556,059	7,161,509,740	7,148,704,762				
その他の固定資産	443,296,496	444,233,396	510,134,296				
流動資産	931,258,418	926,144,483	1,081,974,794	流動負債	355,452,831	406,491,035	444,370,664
				負債の部合計	450,262,943	493,885,065	516,213,618
				基本金の部合計	10,863,184,364	11,136,440,490	11,199,515,396
				消費収支差額の部合計	△ 2,966,336,334	△ 3,098,437,936	△ 2,974,915,162
資産の部合計	8,347,110,973	8,531,887,619	8,740,813,852	負債の部、基本金の部、及び消費収支差額の部	8,347,110,973	8,531,887,619	8,740,813,852

消費収支経年推移グラフ



消費収入の部 (単位:百万円)

科 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生生徒等納付金	1,432	1,502	1,586
手数料	27	32	32
寄付金	45	40	41
補助金	654	650	650
雑収入他	88	109	165
帰属収入合計	2,246	2,333	2,474
基本金組入額合計	△ 106	△ 273	△ 63
消費収入の部合計	2,140	2,060	2,411



消費支出の部 (単位:百万円)

科 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人件費	1,348	1,384	1,430
教育研究経費	636	621	645
管理経費	169	177	207
その他	83	10	6
消費支出の部合計	2,234	2,192	2,288
当年度消費収入超過額	△ 95	△ 132	123
前年度繰越消費収入超過額	△ 2,872	△ 2,966	△ 3,098
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越消費収入超過額	△ 2,966	△ 3,098	△ 3,098

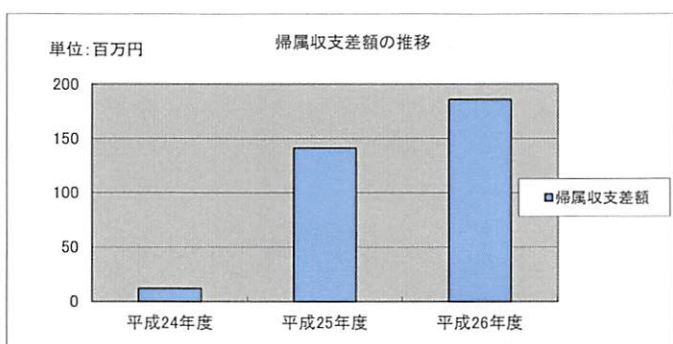
帰属収支差額 (単位:百万円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
帰属収支差額	12	141	186

※帰属収支差額=帰属収入-消費支出

消費収支計算書は、企業会計で言えば損益計算書にあたるもので、

帰属収支差額(帰属収入から消費支出の合計を引いたもの)が、
実態の損益に近いものです。



財務関係比率 (単位:%)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人件費比率 (人件費/帰属収入)	60.0%	59.3%	57.8%
人件費依存率 (人件費/学生生徒等納付金)	94.1%	92.1%	90.2%
教育研究経費比率 (教育研究経費/帰属収入)	28.3%	26.6%	26.1%
管理経費比率 (管理経費/帰属収入)	7.5%	7.6%	8.4%
消費支出比率 (消費支出/帰属収入)	99.5%	94.0%	92.5%